

## 子どもたちに倫理観を身につけさせる新しい取り組みの提案

3年3組9番 笠井瑛仁

keyword:「教育」「児童生徒」「いじめ」「バカッター」「社会問題」

## 1. はじめに

子どものトラブルが問題になっている。中でもいじめというのは代表的なものである。杉森は『【いじめの構造】第1回 いじめの定義と変化』でいじめが社会問題になり始めたのは1986年の中野富士見中学いじめ自殺事件が発端とされることや、その後の1994年に愛知県西尾市中学生いじめ自殺事件が起こったことで、文部科学省はその度にいじめを定義、再定義してきたことを述べている。(杉森, 2012)中野富士見中学いじめ自殺事件から約40年経った今、いじめ件数は増加し続けている。コロナ禍の2020年の件数は前年より95,333件少ない517,163件まで減少したが、翌年の2021年には615,351件とコロナ禍以前のいじめ件数と同程度の水準まで逆戻りした。(文部科学省より資料を引用)子どもたちのために安心・安全の場を作り出す必要がある。絶え間なく起こる子どものトラブルについてできることはないかと考えた。

## 2. 序論

## 目的

子どものトラブルはいじめ以外にもある。共同通信『スシロー、迷惑動画で少年提訴 6700万円の損害賠償求め』によると、2023年1月回転寿司チェーン・スシローの店舗で、客の少年が卓上の醤油差しをなめる動画が拡散した問題で、スシロー側は、店舗の衛生管理に疑念を生じさせ、多くの客に著しい不快感を与えたとして、この少年に対し約6700万円の損害賠償を求めて大阪地裁に提訴した。子どものトラブルというのは学校内だけではなく、このように学校外でも大きな影響を与えている。私はこれらの子どものトラブルの要因が子どもの倫理観の欠如によるものだと考えた。

## 現状分析

子どもの倫理観が欠如している根拠として高校生より小中学生のいじめ発生件数が多いことを提示したい。文部科学省が発表した資料によると、2006年から2018年の小学校・中学校のいじめの認知件数はいずれも高等学校を上回っており、いじめの認知率も同様の結果であった。また、その差は認知件数、認知率共に拡大し続けている。特に小学生のいじめの拡大は大きく、2018年時点で中学校の4倍、高等学校の24倍以上の件数となっている。このことから年齢が若くなるほど子どものトラブル(この項ではいじめ)の件数が多いことがわかる。井口は『子供の認知発達に応じた道徳判断の育て方—小学校中高学年を中心に—』で「子供の道徳観は生まれつき備わっているものではなく、家庭や社会環境の中で様々な影響を受けながら学習形成されていく」と述べている。(井口, 2010)したがって子どもの成長と倫理観の向上とは関連があるといえる。すなわち子どもが成長するほど倫理観が身につくので子どものトラブルは減ると考えられる。また小寺正一、藤永芳純(2001)は「科学技術の発展により、人間にとっての技術的可能性が拡大したということである。とすれば、今後は「可能な技術をいかに利用するか」という問題を避けて通れない。できることを何でもするのではなく、「してよいこと」と「してはならないこと」とを峻別する能力が必要となる。」(p.17)と述べている。このことから倫理観と技術の進歩には関連があると考えられる。

## 研究方法

子どもの倫理観の欠如という問題の対策として、倫理観を身につけさせる授業をするという実験を行った。実際の授業をもとに学習指導案を作成し、奈良県立国際高校の教員4名に生徒役をしてもらい、模擬授業を行った上で、実際に小学生に授業をした際に効果に期待できるか等のアンケート調査を行った。今回の模擬授業では相手を尊重することをねらいとした内容の学習指導案を使用した。

### 3. 本論

#### 結果と分析

模擬授業とアンケート調査の結果は以下のようになった。

アンケート1 倫理観を身につけさせる授業を行うことについて

賛成3名 反対0名 どちらともいえない1名

アンケート2 模擬授業が子どもに与える影響について

期待できる3名 期待できない0名 どちらともいえない1名

アンケート3 模擬授業を行う場合の頻度について

年3回程度がよい4名 年3回以上がよい0名 年3回未満がよい0名

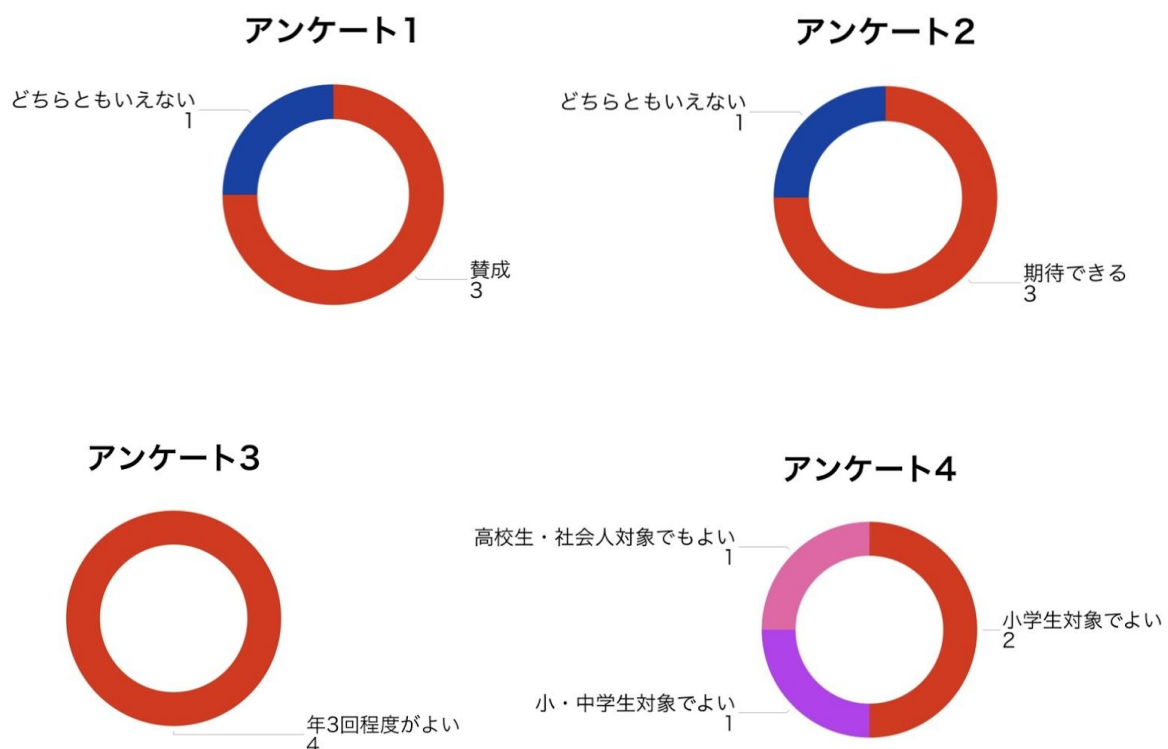
アンケート4 模擬授業を対象とする生徒について

小学生対象でよい2名 小学生だけでも良いが、中学生にあってもよい1名

高校生や社会人にあってもよい1名

アンケート5 模擬授業の良い点や悪い点について

- ものの捉え方の幅を広げられる点が良い。一方で人によって臨むモチベーションに差があると思うのでこういった題材を扱うのが難しい。
- 相手を尊重する意識が持てる一方で、全員がそうであるべきと思わない生徒も出てきそう。
- 相手を尊重しすぎた故の遠慮は起きないか。
- まだ前例がないので、一步間違えば倫理観のない大人が育ってしまう。
- 道徳も同じことが問題になるのですが、結論が決まっていると、子どもたちに考えさせたくても、先生がどのような結論を望んでいるかを子どもたちは察して、それに合わせがちです。考えさせたいはずが、結果として「この場で望まれている結論を答えるクイズ」になってしまうということです。
- 文化によって価値観が違うこともあるため、その配慮は必要かと思う。
- 子どものトラブルは、倫理観の欠如以外にどんな原因があるか考えるのも良いかとも思いました。私は異なる他者の視点や想像力の欠如が問題だと感じます。それはバーチャルな世界やSNSの普及も影響を与えているように思います。



#### 考察

結果は賛成の割合が多く模擬授業が有用であることを示している。一方で、どちらともいえないの意見がある理由として、前例が無く効果があるか確証が持てないことや、授業の詳しいカリキュラムが不透明であることが原因であると考えられる。あくまでも倫理観を身につけさせることに執着するのではなく子どものトラブルを減らすことが目的である。目的と方法が逆転しないように注意したい。また、倫理観の欠如だけが子どものトラブルを招く原因かどうか、そうでないなら他の原因は何かを考える必要があると感じた。

#### 4. 結論

##### まとめ

本研究では子どものトラブルを減らすために、倫理観を身につけさせることが良いのではないかと考え、学習指導案を作成し、模擬授業を行った上でアンケート調査を行った。その結果、過半数が倫理観を身につけさせる授業に賛成し、小学生以外を対象にしてもよいという意見も見られた。

##### 今後の課題

いくつかの問題点がある。第一に、実験の対象者が少なく、結果が確からしいとはいいがたい。第二に、本研究では、倫理観の欠如を原因として研究を進めたが、他の原因についても考察していく必要がある。第三に、倫理観を身につけさせる授業には賛成を受けたが、本研究の学習指導案が倫理観を身につけさせることができるのかわからないということである。第三の課題の原因はどんな授業なら倫理観を身につけさせることができるのかという基準を設けていないことにある。本研究では実験の内容が模擬授業にとどまっており、学校で授業を実施しているわけではないため「新しい取り組みの提案」とした。結論として、子どもたちに倫理観を身につけさせることの効果は今回の研究で期待できるとわかった。しかし、どのように授業すればよいかは今後の課題である。

#### 5. おわりに

「いじめ問題をなんとかしたい」という漠然とした考えを授業や学習指導案の作成にまで到達させることができたことは思ってもみないことであり、喜ばしく思う。中間発表では自身の主張能力の向上を心がけ、未熟な箇所を見直した。論文の執筆を通して、私の研究はなにができていて、な

にできていないかを理解することができた。高校生活初期にて得たコミュニケーションスキルやプレゼンテーション能力は進学先や社会人生活でも大いに役立つと信じている。

#### 6.参考文献・出典

井口洋子.“子供の認知発達に応じた道徳判断の育て方—小学校中高学年を中心に—”. 日本教材文化研究財団. 2010-3. [http://www.jfecr.or.jp/publication/pub-data/kiyou/h22\\_39/t2-4.html](http://www.jfecr.or.jp/publication/pub-data/kiyou/h22_39/t2-4.html), (参照 2023-12-4).

初等中等教育局児童生徒課.“【資料2】いじめの現状について”. 文部科学省. 2021-11-22. [https://www.mext.go.jp/content/20211122-mext\\_jidou01-000019036\\_03.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211122-mext_jidou01-000019036_03.pdf), (参照 2023-12-4).

初等中等教育局児童生徒課.“令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要“. 文部科学省. 2022-10-27.

[https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt\\_jidou02-100002753\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt_jidou02-100002753_2.pdf), (参照 2023-12-9).

共同通信.“「スシロー、迷惑動画で少年提訴 6700万円の損害賠償求め」”. Yahoo!JAPAN ニュース. 2023-6-8.

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2209afa63fd04796363763d1a50336fee7d18659>, (参照 2023-11-27).

杉森伸吉.“【いじめの構造】第1回 いじめの定義と変化”. Child Research Net. 2012-4-20.

<https://www.blog.crn.or.jp/report/02/143.html>, (参照 2023-12-6).

東部教育事務所.“参考となる学習指導案集(小学校・道徳)”. 埼玉県庁. 2023-9-14.

<https://www.pref.saitama.lg.jp/q2204/shidouan-syou-doutoku.html>, (参照 2023-12-8).

小寺正一, 藤永芳純. 新版 道徳教育を学ぶ人のために. 京都, 世界思想社. 2001, 17p.